

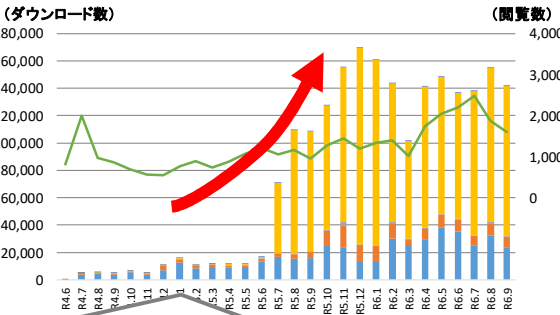


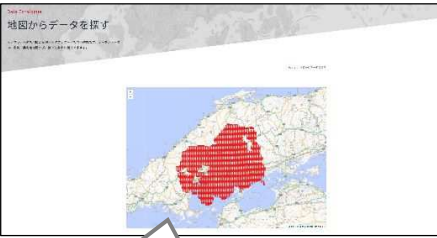






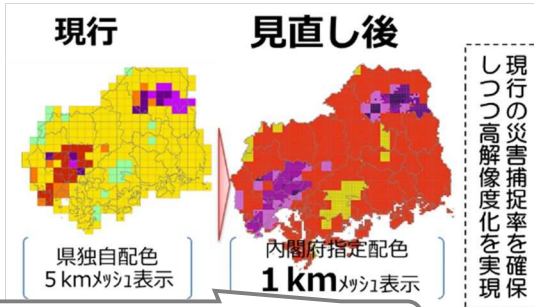


これまでの主な成果（赤字箇所が令和6年度の取組）

取組分類	新たなサービス・付加価値の創出	
①新たなサービス・付加価値の創出		
インフラマネジメント基盤 DoboX の構築・運用拡大		
		
<p>国・県に加え、市町の主要道路の規制情報を公開（R5.6）</p>	<p>浸水想定、土砂災害などのリスク情報を公開（R4.6）</p>	
	 <p>未報告の人工地形（東広島市福富町） DoboX + DATAKIDS ども防災マップ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次元点群データ等を、建設事業者が調査・設計業務等に活用</li> <li>・一元化された災害リスク情報を地域の災害図上訓練時に活用</li> <li>・3次元点群データによる人工地形の判読など大学の研究に活用</li> <li>・避難情報等の防災情報を民間事業者の開発したアプリ等に活用</li> </ul>	<p>人工地形の判読（大学研究） 防災マップづくり（地域活動）</p>  <p>防災アプリ（R6.4 運用開始）</p> <p>【ユーザーの主な声】 ・「自分の命は自分で守る」ための判断材料となる情報源だ。 ・とても便利なアプリで地域活動に活用したい。</p>	
②価値あるデータの整備		
県土全体の3次元デジタル化		
		
<p>県内全域で3次元点群データを公開（R4.6）</p>	<p>・都市計画区域等に加え土地や建物の利用現況等を公開（R5.7） ・都市計画基礎調査結果のオープンデータ化を完了（R6.8）</p>	
 <p>3D都市モデルを活用したアプリの開発・運用（R6.10～R7.2）</p>		
中古住宅市場の活性化に向けた関連データの一元化		
	民間ニーズ等を踏まえたデータ整備・利活用の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産データ取得アプリをDoboXに実装（R6.2）</li> <li>・徒歩圏内の施設充実度などの情報を拡充（R6.12）</li> </ul>	 <p>ハッカソン（R5.9-R6.7）</p>	 <p>データチャレンジコンテスト（R6.1-R7.2）</p>
 <p>オープンデータを活用したイベントや大学での演習、コンテスト等を実施</p>		

③災害リスク情報の発信

個人ごとに異なる災害リスク情報のリアルタイム発信



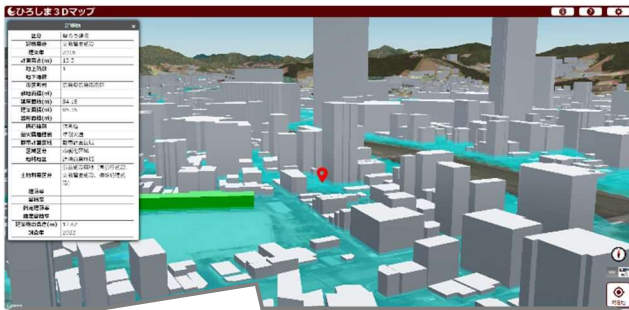
- ・水害リスクライン（実況（沼田川・野呂川））の提供開始（R5.4）
- ・提供河川（実況）を拡大  
R5年度：7水系 18河川  
R6年度：19水系 25河川（R7.3（予定））

土砂災害危険度情報を、最新の降雨データを基に全面改訂（R3.6）



「Yahoo!防災速報」に、県が企画段階から協力し、マイ・タイムラインをデジタル化した機能を実装（R3.9）

災害リスク情報等の3Dマップ化



- ・ひろしま3Dマップを運用開始（R4年度：府中市、海田町）
- ・対象市町を拡充  
R5年度：竹原市  
R6年度：広島市、呉市、福山市、三次市

ARを活用した災害リスクの可視化



- ・キキミルARを運用開始（R4.6）し、活用されることで災害リスクに対する理解が深まっている。  
（アクセス数：2,835（R4年度）→ 6,281（R6.4～R7.2））

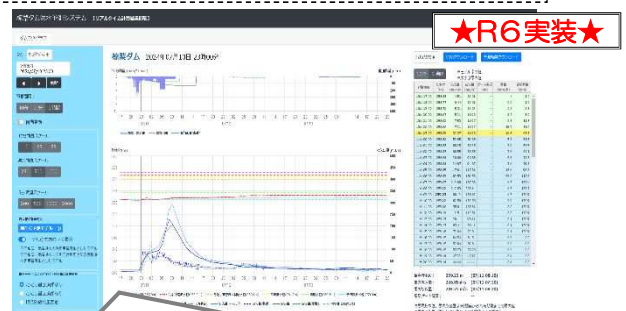
④異常気象時の業務効率化

画像情報等の充実・強化



- ・道路、河川、港湾等のカメラ情報を一元化（R5.3）
- ・道路、海岸等のカメラを随時拡充（280箇所）（R6.9現在）
- ・坂町が管理するカメラの追加（7箇所）（R6.3）

AIを活用したダム操作を支援するシステム構築



棕梨ダムでAIによる流入量予測システムの運用開始（R6.4）

取組分類

県民の安全・安心、利便性の向上

⑤円滑な物流・人流の実現

効果的・効率的な空き家対策の推進



「ひろしま空き家バンクみんと。」で VR 化した物件数を増やし情報を充実  
VR 化した累計物件数：91 件（R4 年度）→287 件（R6 年度）



DoboX で電力利用データを活用した推定の  
空き家分布状況を可視化（R6.12）

デジタル技術を活用した瀬戸内海航路網の最適化

インフラツーリズムの推進



DoboX の航路情報や施設写真を、JR 西日本が運営する  
観光ナビアプリ tabiwa に連携し観光情報を充実（R5.3）



DoboX にインフラツーリズム特集ページを掲載し、観光に  
資するインフラデータを公開（R6.2）

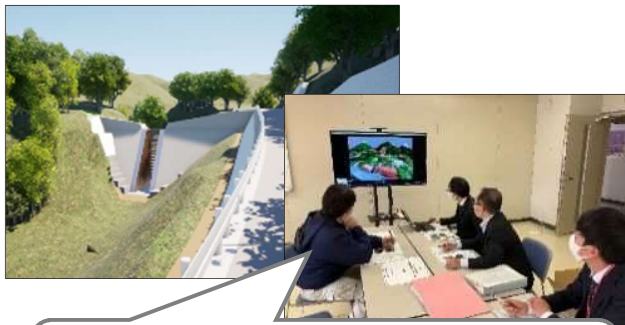
取組分類

建設分野の生産性向上

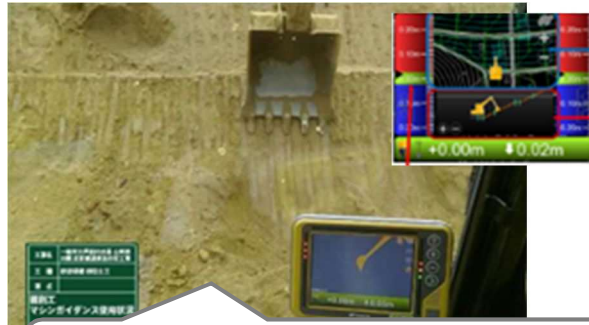
⑥効率的な事業の推進

主要構造物における CIM の完全実施

土工工事における ICT 活用工事の完全実施



CIM 活用業務の適用範囲を拡大  
R3～R6 年度：98 件（実施累計）  
（R3 年度：10 件 →R6 年度：39 件（予定））



ICT 活用工事の適用範囲を拡大  
R3～R6 年度：491 件（実施累計）  
（R3 年度：30 件 →R6 年度：178 件（予定））

受注者間の協議・臨場等の高度化・効率化

法規制関係情報の一元化表示

時間短縮効果

【臨場による立会】	
・移動時間（車）片道70分×2=140分	
・移動時間（歩）片道 5分×2=10分	
・立会時間	30分
・運転日誌、旅行命令	20分 合計200分
【遠隔臨場による立会】	
・移動時間	0分
・立会時間	30分
・WEB準備	5分 合計 35分

165分  
短縮



・遠隔臨場を開始し受注者間の業務を効率化（R3.9）  
・遠隔臨場の対象工事を拡大（R6.6）



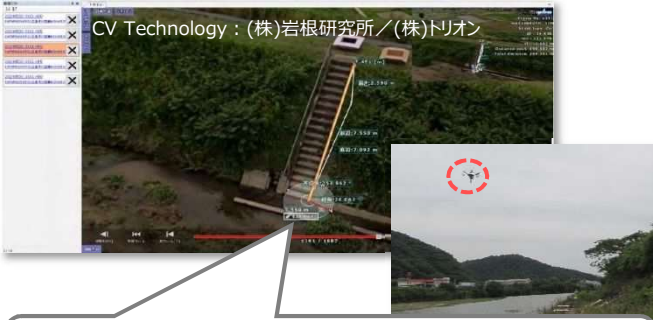
・許可手続き等が必要な 14 法令の区域情報等を公開（R4 年度）  
・盛土規制法等の区域情報を拡充（R5 年度）  
・文化財保護法等の区域情報を拡充（R6 年度）

取組分類

建設分野の生産性向上

⑦維持管理の高度化・効率化

ドローン等を活用した施設点検の高度化・効率化



- ・ドローン等を活用した施設点検を開始 (R5.6)
- ・360°カメラによる河川内の現地形状計測の試行 (R6.5)

道路台帳付図閲覧の利便性向上



維持管理システムとDoboXを連携し、DoboX上で付図データを公開 (R6.2)

除雪作業における支援技術の構築



- ・除雪車に支援システムを実装 (R5.3)
- ・除雪作業日報を自動作成する機能の試行運用 (R6.4) (県管理道路と同一業者が除雪する庄原市管理道路においても試行運用を開始 (R6.12))

路面管理の効率化と路面陥没を予測する技術の構築



- ・路面性状を把握する技術を実装 (R5.3)
- ・全巡視車両にドライブレコーダーを搭載し、画像取得を開始 (R6.4)

取組分類

持続可能な変革

⑧人材育成と官民連携

デジタルリテラシー向上に係る研修の実施



ICT活用工事導入に向けたICT体験セミナー(東広島市)を開催 (R6.11)

ICT活用工事の実践的な講習会を開催 (R4年度(3回)、R5年度(6回)、R6年度(9回))



ICT活用工事現場見学会 (R5.11~)



関係者との意見交換会 (R4年度・R5年度・R6年度)

表 令和6年度の実施状況(見込)

年月	対象者	研修等(回数)
R6.6~7	県職員	3D CAD研修 (5回)
R6.6~7	県・市町職員	CIM活用・ICT活用講座 (各2回)
R6.7	県・市町職員	デジフラ講座 (1回)
R6.7~8	県職員	ドローン操作研修 (10回)
R6.10~R7.3	建設技術者	ICTチャレンジ・ステップアップ実践講座 (9回) ICT体験セミナー (1回)
R7.1~3	県・市町職員 建設事業者	ICT現場見学会 (9回)

建設現場の魅力発信



- ・学生向け現場見学会でAR・VRを体験 (R4年度:23人)
- ・県HPに魅力発信のコンテンツを掲載 (R6.10)



DX関連ブースなど建設現場の魅力を発信 (R6年度:約5,900人)